

# デイサービスセンター

地域包括ケアを担う一端の事業所として、高齢者の自立支援と要介護状態の重度化防止に重点を置き、社会福祉法人として地域共生社会の場の提供を行える様に取り組んでいきます。また、コロナ禍における社会的状況を加味しながら、地域交流も図っていきます。

## 1. 利用者・家族への援助

- (1) 利用者及び家族等のニーズを的確に把握し、利用者の人格を尊重した援助を行い、家族等の身体的・精神的な負担の軽減を図ります。
- (2) 利用者個々のニーズに耳を傾け、地域から必要とされるデイサービスを目指します。
- (3) 各居宅介護支援事業所へ受入可能状況や利用状況を把握してもらえる様に、定期的な訪問等でアプローチしていきます。
- (4) サービスを提供する関係職種が情報を共有し、ケアプランに基づく継続・安定したサービスが提供されるように支援していきます。
- (5) 自立支援を目的とし、在宅生活継続の可能性を高める様に支援していきます。
- (6) 職員各自はケアプランに沿って同じ目的意識を持ち、自立生活を妨げる諸問題に対処していきます。
- (7) 継続可能な支援を行う中で、サービスの評価と改善を繰り返すことで利用者の生活の質や意欲の向上を図っていきます。

## 2. 福祉職員としての資質向上

- (1) 利用者等に対して「真心」「思いやり」「気配り」の心を持った介護と接遇に努めます。
- (2) 職員各自が専門職としての自覚と責任感を持って業務に取り組みます。
- (3) 内部研修や外部研修にも参加し、知識や技術の習得を図っていきます。また、介護分野のみではなく、服薬等の医療分野における知識向上にも努めます。
- (4) 連帯感を大切に、成功事例や苦情は全職員が真摯に受け止め、サービスの質の向上に活かしていきます。

## 3. リスクマネジメントへの取り組み

- (1) 問題点や苦情に対しては迅速に対策を講じ、職員への周知と改善を図ります。
- (2) ヒヤリハット事例を活用し、事故の危険性を共有し、ケアにあたります。
- (3) 個別性と一貫性のあるサービスを提供し、ケアの品質を伴っていきます。
- (4) 備品の確認・管理を行い、連絡網を随時整備し、常日頃より感染症発生や非常災害、急変時に備えます。